



展示解説（縄文～古墳）

教科[社会] 学年[小学校高学年～中学生] 授業時間[30分]

実施場所[浜松市博物館]



(1)ねらい:博物館に収蔵、展示されている石器や土器、骨角器、埴輪などの実物資料にふれる活動を通して、子供たちの知的な好奇心を高め、学習への動機付け・学習の深化を図る。また、生涯に渡って自ら進んで博物館を活用する態度や能力の基礎を培う。

(2)活動内容:常設展示の解説(縄文時代～古墳時代を中心に)

(3)対象学年:小学校高学年～中学生(学年に応じて解説します)

(4)授業時間:30分

(5)活動について

縄文時代～古墳時代を中心に教科書の内容と関わらせながら、児童・生徒に分かりやすい言葉で常設展の解説をします。蜷塚遺跡や伊場遺跡を中心に、浜松市内で発掘された実物をたくさん見学することができるので、歴史に対する興味・関心を高めることができます。

本プログラムと、蜷塚遺跡の見学、火起こし体験、勾玉づくり体験等を組み合わせることにより、学習効果が上がります。必要に応じて先生方と博物館職員が事前打ち合わせをし、先生方の要望・授業の意図に合わせて解説することも可能です。

備考

団体見学の場合は、事前に電話予約をお願いします。

中学生以下は無料、高校生は有料です。引率の教員は、いずれの場合も無料です。

団体紹介

浜松市博物館では、常設展示として静岡県西部、天竜川中流域から浜名湖・遠州灘までを擁する、浜松という地域の数万年にわたる地域史を、収蔵品を中心にご紹介しています。また、特別展示室では、2～3か月毎にテーマを変えて企画した展示を行っています。

お問い合わせは

浜松市教育委員会教育総務課まで 電話 053-457-2401